

中札内より元気いっぱい!

北海道中札内高等養護学校 校長室より

第37号

令和5年3月13日(月)

春の準備着々・・・

なんて解けるのが早いんだろう!と驚いています。あんなにあった雪が、毎日少しずつ解けて、道路が見えるようになりました。

先日、公務補さんが氷を少しずつ割っているのを見かけました。こまめな除雪も雪が早く解けるのを手伝っているのだと思いますが、十勝の日差しの強さも影響しているでしょう。4月の新生活の準備をしているかのように、大急ぎで雪がなくなっていくます。左の写真、よく分からないかもしれませんが、学校のグラウンドそばで勢いよく雪解け水が流れている様子です。すごい音がしています(へ▽へ)/ これも春の音ですね。



育てた豆でお豆腐作り

農業科2年生が、畑で収穫された大豆で、豆腐作りをしました。多くの工程がある豆腐作りですが、校長室に来てくれたKさんが詳細に説明してくれました。「ゆがいて、ミキサーして、ガーゼで漉して・・・」と説明を受けました。



丹精込めた野菜がこんなに美味しく調理されることを知ると、また春からの作業に意欲がわきますね。おいしいお豆腐、ありがとうございました。



学舎合同での避難訓練

先日火災を想定した学舎合同の避難訓練が実施されました。部活動が行われている時間帯での実施で、生徒も職員も様々な場所で活動している時間帯。



生徒たちの落ち着いた静かな避難の様子、先生方の素早い確認と報告がとてもよかったと思います。生徒と職員、多くの方が在籍する場所ですので、「〇〇さんがいない」という事態が必ず起きると思います。生徒も先生たちも、自分がどこにいるか、誰かが知っている状況を心掛けること、大切だと思いました。



名寄市立大の矢口先生が来校

名寄市立大の矢口明先生が、中札内本校と幕別分校、両方を視察してくださいました。教育大附属の教員、行政、道立学校の管理職の経験がある矢口先生は、現在も教員を目指す学生の指導をされています。

教育や障がいのある子どもたちへの思いの強い学生を育てるために、ご自身が道内各地の学校の実践を視察して学ばれています。

